

えこみゆう

「西和賀の人と自然と環境を守り育てる豊かな里づくり」

西和賀エコミュージアムだより

平成十九年三月二十三日発行

第六号

西和賀エコミュージアム 事業推進連絡会

この連絡会は西和賀の自然や景観、文化財や史跡、地域に伝わる伝統技術などを活かしながら活動している団体が自由に情報交換をしながら相互の連携や行政が行う活動への意見、提言をを活発化させていくことを目的として、今年度は五回連絡会議を開催しました。



活発な情報交換をする連絡会

連絡会議では、それぞれの団体の事業推進のために、行政への要望やお互いが活動している課題等についての情報交換、また掘起しの議論の場とするとし、会議においては何をどう決めるということではなく、まず集まって自由な話し合いを行う場となっています。

参加団体は次に掲載の団体です。

- かたごの会 高橋 ユキ子
- カタクリの会 瀬川 強
- 秀衡街道探査会 高橋 信一
- 左草婦人グループ 高橋 厚子
- りんどうの会 高橋 郁子
- ちやい夢の会 佐々木美代子
- 森っこの会 増田 洋
- フレンドの会 有馬なお子
- むつみ会 内記あや子
- 夢追い人かじか組合 佐井 昭三
- 泉沢生活研究グループ 佐藤タダ子

● 西和賀文化遺産伝承協会 廣瀬 龍一

● 長瀬野生活改善グループ 渡辺まい子

● 湯田ダムビジョン推進事務局 佐井 守

活動団体がそれぞれに何をしたいのか、あるいは行政に何を望みたいのかを、話し合いを通して明らかにすることで、団体間同士の連携ができ、行政としての支援の必要性が明確化されるという連絡会議の成果は大きく、今後継続させていくことになりました。この連絡会への参加は個人・団体・民間企業などに関わらず、どなたでも参加できます。(連絡先は企画課まで)

西和賀エコミュージアム 推進事業費補助金

町は、今年度の新たな取り組みとし

て「西和賀エコミュージアム推進事業費補助金要綱」を定めました。

これは、地域にあるものを利用して、それが経済的な成果につながるような活動や埋れている豊富な地域資源に光をあてて伝承していく活動などに対し、二十万円を限度として財政補助するものです。

この補助金を活用して取り組まれた事業を紹介します。

● **「庭むしろを織る技術の掘起し事業」**
左草婦人グループではむしろ織り機を新規に復元した大小3台と、地域で昔から使われていたむしろ織り機2台を借り受け「ブナの森自然塾さそう館」の一室を体験室として、むしろ織り技術の伝承活動に取り組んでいます。



「むしろばたし」(織り機)を
囲んで技術を習得中

左草婦人グループの中にはむしろ織りの経験者がいることもあり、また地域のシルバークラブの方々や交流をしながら技術指導をお願いするなどして、むしろ織り技術の掘起しに取り組む、むしろの実用品ばかりでなく、大きさをかえて壁掛けなどの加工品にも挑戦してみようとしています。

この活動の成果は、今年度事業として二月に開催したプレツアーの実現そのものとして現れることとなりました。

● **「カタクリまつり推進事業」**
かたごの会は、「安ヶ沢かたくりまつり」を開催して今年で十周年を迎える節目の年になります。



安ヶ沢
「カタクリの里」

そこで、かねてから来訪者等より要望のあった沼地周辺の危険防止柵の設置をし、第3カタクリ群生地には簡易な階段等の整備をしました。また在庫切れとなっていた「カタクリの里」案内用のリーフレットの印刷やカタクリまつりでの販売品開発として、独自の手作りクッキーの試作にも取り組みました。

このように着々と準備をすすめて開催するこの春の「カタクリまつり」は特別なまつりとなりそうです。是非、みなさんで、お出かけください。

● **「滝巡り案内パンフレット作成事業」**
西和賀の滝といえば良く知られているのが「白糸の滝」ですが、あまり知られていない真昼山系にも、みごとに美しい滝群があります。(株)エステック(沢内バーデン)ではその自然にめぐまれたすばらしい景観の滝群を、新しい西和賀町の観光スポットになれ

ばと考えており、美しい滝の写真やマップ等を掲載した分かりやすい魅力あるパンフレットを作成しました。沢内バーデンではガイドを兼ねた滝めぐり事業も実施しております。

地元学事業

今年度西和賀町では、泉沢・弁天・猿橋・新町の各行政区で地元学を行いました。地元学事業は各地区において2段階に分けて行い、一回目は『お宝探し』をテーマとして、住民自らが地域を歩いて回り、地区の魅力や良い点を発見することを目的として地元学の手法を活用して集落点検を実施しました。



班ごとに「ワークショップ」

二回目は、『お宝の改善や活用方法を考える』をテーマとして、一回目に発見し、整理したお宝カードを元に、そのうちのいくつかについて改善方法や活用方法を考えるワークショップを夕方7時から9時頃まで各地区で開催しました。

- *改善方法*
 - *活用方法*
- ①どのよう改善・活用したらよい

か。(具体的に記入)

②誰が行うべきか。

(住民 行政 協働 その他)

③いつまでに行うべきか。

(今年度内 来年度 それ以降)

このような項目にしたがいながら班ごとに「お宝カード」の一枚一枚について話し合いを行い、意見交換をしながら、みんなで地域について考えることができました。

来年度も地元学事業を予定しております。なお、これまで「お宝さがし」だけで終わっている地域についても、さらにその地域のお宝の改善・活用についての検討の場を設けるなどして地域づくりを進めていきますので、是非、地元学の事業実施についてご検討をお願いいたします。

エコミュージアム・プレッサー

二月十八日(日)にブナの森自然塾さそう館で「むしろ織り体験と郷土食満喫ツアー」を開催したところ、ツアーには、町内のほか仙台市・盛岡市・奥州市・北上市などからあわせて二十二名の方々の参加がありました。

プレッサーはエコミュージアム事業の普及活動として今年度夏に行った「真昼山系滝めぐりツアー」に続き2回目の開催となりました。

はじめに参加者は五班に分かれて、左草婦人グループから指導を受けながら、昔懐かしい「むしろ織り」をそれぞれに交替で熱心に取り組みました。

また時間調整をしながら、左草地域で作られたコンニャク芋を使って「コ



西和賀の食と伝統技術を満喫したみなさん

ンニャク作り」にも挑戦しました。形や色、大きさの様々な出来栄に笑いがでるなど、楽しい体験となりました。昼食には納豆汁や山菜の煮しめ、ホッケのすし漬けなどの地元の郷土料理をたっぷり味わうことができ、参加者は大満足の一日となりました。



楽しそうな「むしろ織り」体験

この「むしろ織り」体験については、今後ブナの森自然塾の体験メニューと

して活動を展開していけそうだと、左草婦人グループでは意欲的に検討をしています。

西和賀の自然と文化の小冊子の発行

◆西和賀の自然と文化の小冊子の発行
西和賀エコミュージアム事業では、「西和賀の自然と文化シリーズ」として毎年、小冊子を発行しています。

今年度は第三冊目となり、西和賀の雪の生活道具をとりあげて「雪と道具の物語」と題した小冊子を発行しました。生活のなかで生かされてきた知恵や伝統文化など、雪を資源と捉え、雪と共生してきた祖先の雪を利用した作業の様子などがイラストや写真の掲載により、わかりやすく、読みやすい内容となっております。

各公民館や小中学校、図書館等に配布設置をしますので是非、みなさんでご利用ください。



西和賀の自然と文化シリーズ③ 「雪と道具の物語」

*連絡先

西和賀町役場 湯田庁舎
企画課 TEL 八二・三三二八四